

日本の自動車の法定点検

道路運送車両法第 48 条

(定期点検整備)

第四八条 自動車（小型特殊自動車を除く。以下この項、次条第一項及び第五十四条第四項において同じ。）の使用者は、次の各号に掲げる自動車について、それぞれ当該各号に掲げる期間ごとに、点検の時期及び自動車の種別、用途等に応じ国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

自家用乗用車、自家用軽自動車の場合

整備工場では整備士が行う

1 年ごと（定期点検）

2 年ごと（初回 3 年）車検

使用者が行う日常点検の

道路運送車両法第 47 条の 2

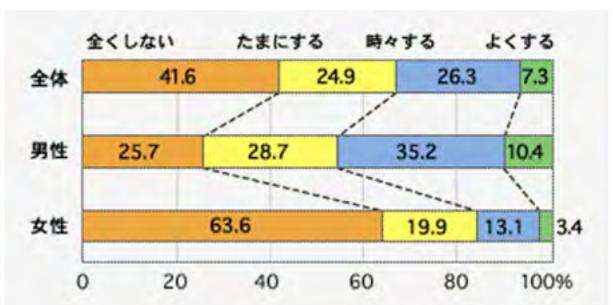
(日常点検整備)

第四十七条の二 自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない

主な日常点検項目

エンジンルーム	ウインドウォッシャーの液量
	ブレーキの液量
	バッテリーの液量
	冷却水の量
	エンジンオイル
クルマの回り	タイヤ空気圧 =点検・調整 自然漏れとパンクのチェック 走行・気温・直射日光で変化
	タイヤの亀裂
	タイヤの溝の深さ
	ランプ類
運転席	ブレーキペダル
	パーキング・ブレーキ・レバー
	ウインド・ウォシャの噴射
	ワイパー拭き取り
	エンジンのかかり具合
	エンジンの低速・加速状態

自動車点検整備推進協会



日本自動車タイヤ協会 (JATMA)



日常点検15項目（私にもできるマイカー点検）

日常点検15項目

トラブル対処法

日常点検15項目

日常点検は、走行距離や運転時の状態などから判断して実施するもので、ユーザー本人が比較的容易に行うことができる点検内容なので、確実に実施しましょう。目安としては1か月に一度、長距離走行前や洗車時などに行うのが一般的ですが、日頃のちょっとした機会に注意深くクルマを観察することで、不具合箇所を早期に発見することができます。

出典：（一社）日本自動車整備振興会連合会

STEP1 エンジンルームをのぞいてここを点検



1. [ウインド・ウォッシャー液の量](#)
2. [ブレーキ液の量](#)
3. [バッテリー液の量](#)
4. [冷却水の量](#)
5. [エンジンオイルの量](#)



STEP2 クルマのまわりを回ってここを点検



6. [タイヤの空気圧](#)
7. [タイヤの亀裂、損傷および異状な摩耗](#)
8. [タイヤの溝の深さ](#)
9. [ランプ類の点灯、点滅およびレンズの汚れ、損傷](#)



STEP3 運転席に座ってここを点検



10. [ブレーキ・ペダルの踏みしるおよびブレーキの利き](#)
11. [パーキング・ブレーキ・レバーの引きしる](#)
12. [ウインド・ウォッシャーの噴射状態](#)
13. [ワイパの拭き取りの状態](#)
14. [エンジンのかかり具合および異音](#)
15. [エンジンの低速および加速の状態](#)

レクサス 6ヶ月ケア



J A F の日常点検 15 項目

サービス内容と実施時期

BEVはこちら

1ヶ月 レクサス1ヶ月ケア

+

6ヶ月 レクサス6ヶ月ケア

-

メンテナンス
項目

消耗部品交換



シビアコンディション?

点検項目

室内

10



ブレーキペダルを踏み込んだときの床板とのすき間点検、遊び点検

11



パーキングブレーキ引きしろ（踏みしろ）の点検

10



ブレーキの効き具合の点検



各種ウォーニングランプの点検

エンジンルーム

2



ブレーキリザーバー液量の点検



エアクリーナーエレメントの汚れ、詰り、損傷の点検

4



冷却水量の点検

14



エンジンのかかり具合・異音の点検

15



エンジンの低速および加速の状態の点検

5



エンジンオイル量、汚れ・油もれの点検

3



バッテリー液の量の点検



インバーター水量の点検（ガソリン車は除く）



ファンベルトのゆるみの点検



パワーステアリングベルトのゆるみの点検

下廻り



下廻り（サスペンションなど）の損傷、油もれの点検



エキゾーストパイプ・マフラー・燃焼版のゆるみ、損傷の点検



ブレーキ配管の損傷、油もれの点検

外廻り・足廻り

6



タイヤ空気圧の点検

7



タイヤの亀裂・損傷の点検

8



タイヤの異常な磨耗の点検

9



灯火装置・方向指示器の点検・点滅、汚れと損傷の点検

13



ワイパーの拭き取り具合の点検

1 12



ウインドウォッシャの液量・噴射状態の点検



シューの摺動部分とライニングの磨耗の点検



ブレーキディスクとパッドのすきま、パッドの磨耗の点検

12ヶ月 法定12ヶ月点検

+

18ヶ月 レクサス6ヶ月ケア

+

24ヶ月 法定12ヶ月点検

+

30ヶ月 レクサス6ヶ月ケア

+

*1 自家用乗用車の場合です。

*2 このサービスは、新車をご購入いただきましたお客さまに限りご提供させていただきます。

* 2024年9月末までに登録完了する車両のサービス内容です。2024年10月1日以降に登録する車両については、レクサス1ヶ月ケア、法定12ヶ月点検（12ヶ月）、法定12ヶ月点検（24ヶ月）のみが無償付帯されます。

トヨタ

オリジナル点検? = 空気圧は月に1度以上しないと安心できない。

点検と整備はドライバーの義務です

点検・整備は、例えるならクルマの健康診断です。メンテナンスを怠ると思わぬトラブルが発生し、重大な事故につながる可能性があります。トラブルを防ぐために最も有効な手段が点検・整備です。クルマの点検・整備には、12ヶ月および24ヶ月ごとにプロの目でしっかりチェックする「定期点検・整備」と、ドライバーがクルマに乗る前や降りた後に行う「日常点検・整備」の2つがあります。どちらも法令で定められていて、ドライバーの義務となっています。

法令では以下のように、クルマのユーザーに対して安全のための点検や整備を行うことを定めています。

【ユーザー保守管理責任（道路運送車両法 第四十七条）】
自動車の使用者は、自動車の点検をし、及び必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を保安基準に適合するように維持しなければならない。

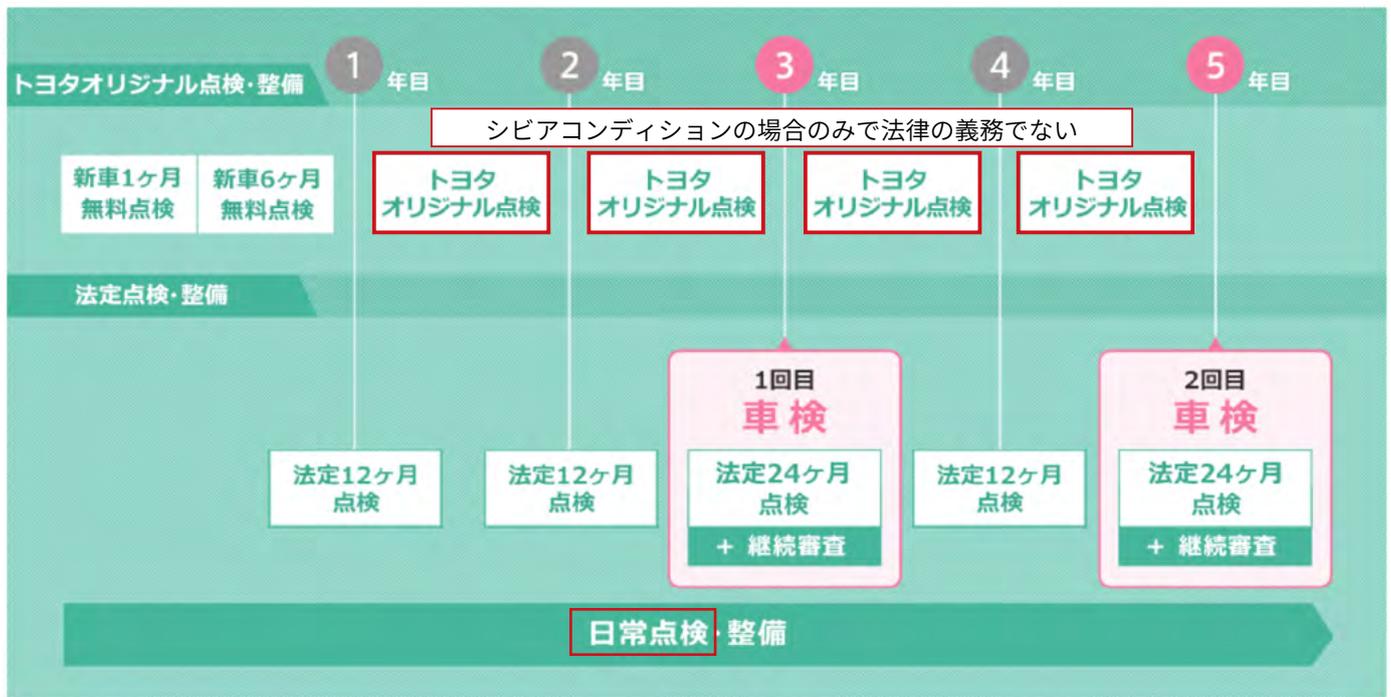
販売店で実施する定期点検 >

ドライバー自身で実施する日常点検 >

法律で義務

販売店で実施する定期点検について

安全で快適なカーライフをお楽しみいただくために、トヨタのお店では法定点検・整備のほか、トヨタオリジナル点検・整備を実施しています。日頃なかなか見ることのできないクルマの下まわりを含め、プロのスタッフが点検します。



ホンダ

安心快適点検? = 空気圧は月に1度以上しないと安心できない。



18
ヵ月

安心快適点検

日産



三菱

安心点検 = 日常?

定期点検	
新車	新車1ヶ月無料点検
6ヶ月	新車6ヶ月無料点検
1年	法定12ヶ月点検
~	安心点検
2年	法定12ヶ月点検
~	安心点検

3年	車検
~	安心点検
4年	法定12ヶ月点検
~	安心点検
5年	車検
~	安心点検
6年	法定12ヶ月点検

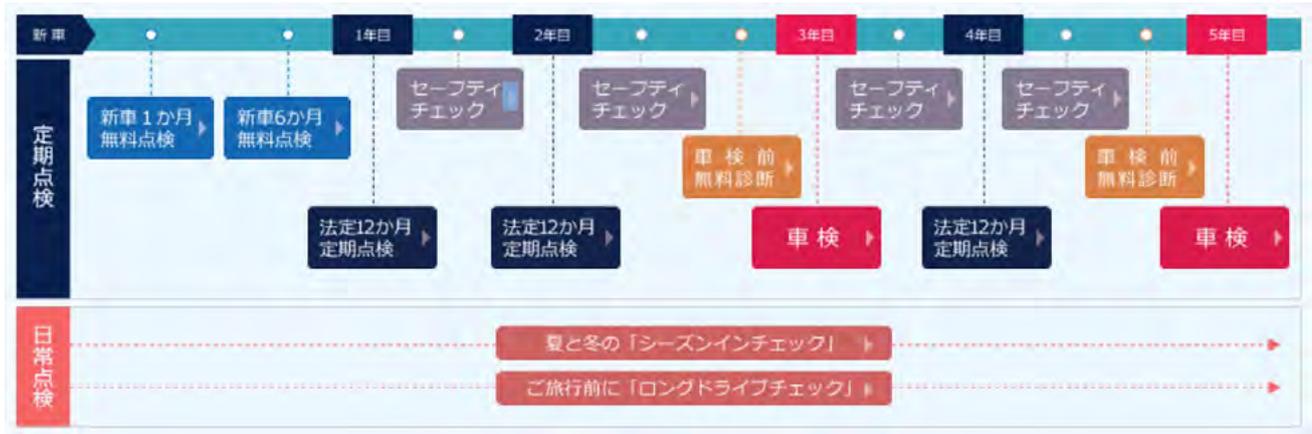
マツダ自動車

マツダセーフチェック = なぜ、シビアコンディションチェックにしないのか?

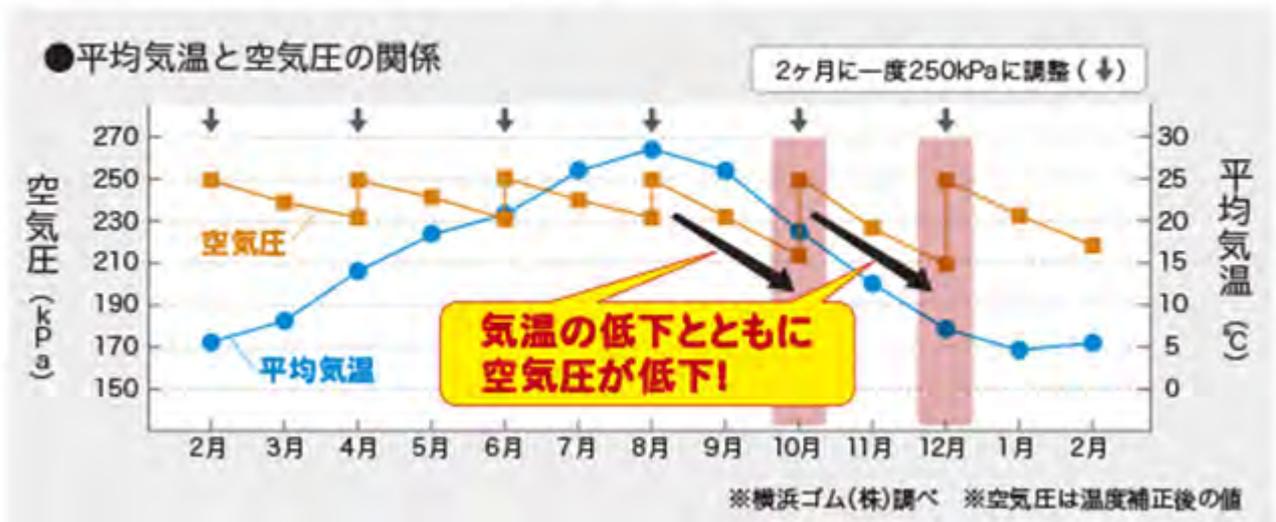


項目		サービスデータ	
交換時期	SKYACTIV-G 2.0、SKYACTIV-G 2.5	標準	15,000 km または1年ごと
		シビアコンディション*1	7,500 km または6か月ごと
	SKYACTIV-D 2.2	標準	10,000 km または1年ごと
		シビアコンディション*1	5,000 km または6か月ごと

スバル自動車

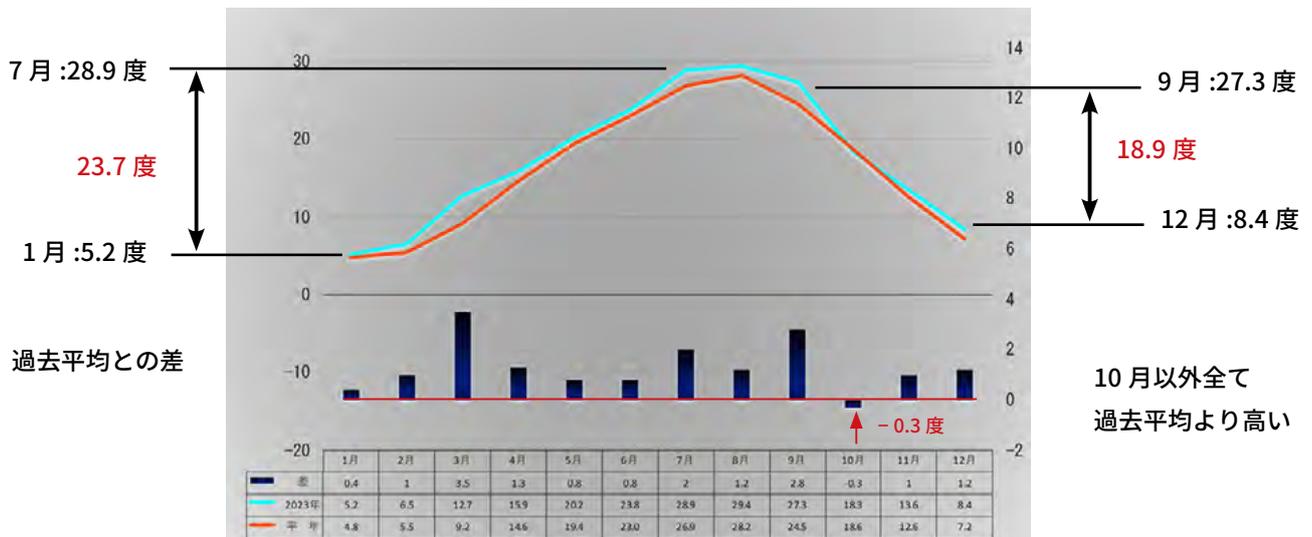


●秋～冬の空気圧管理は要注意



秋～冬の期間はその他の期間に比べ、空気圧の低下率が高まります。それは、空気圧が気温に影響を受けるからです。気温が低下し始める **10月から1月にかけて** 注意が必要です。

名古屋の月別平均気温 **水色**: 2023年の気温 **赤色**: 気象庁1991年～2020年 30年間の平均気温



空気圧 = 自然漏れ + 気温変化 (季節で全く違う)

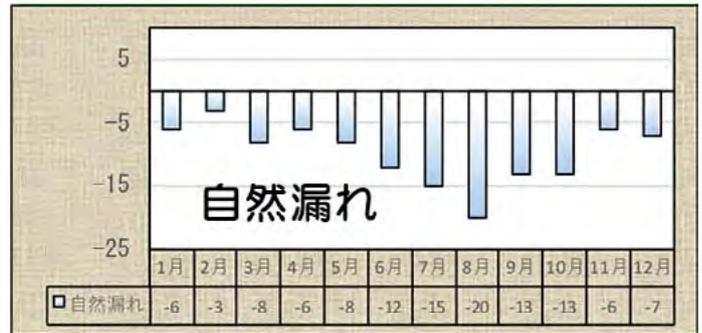
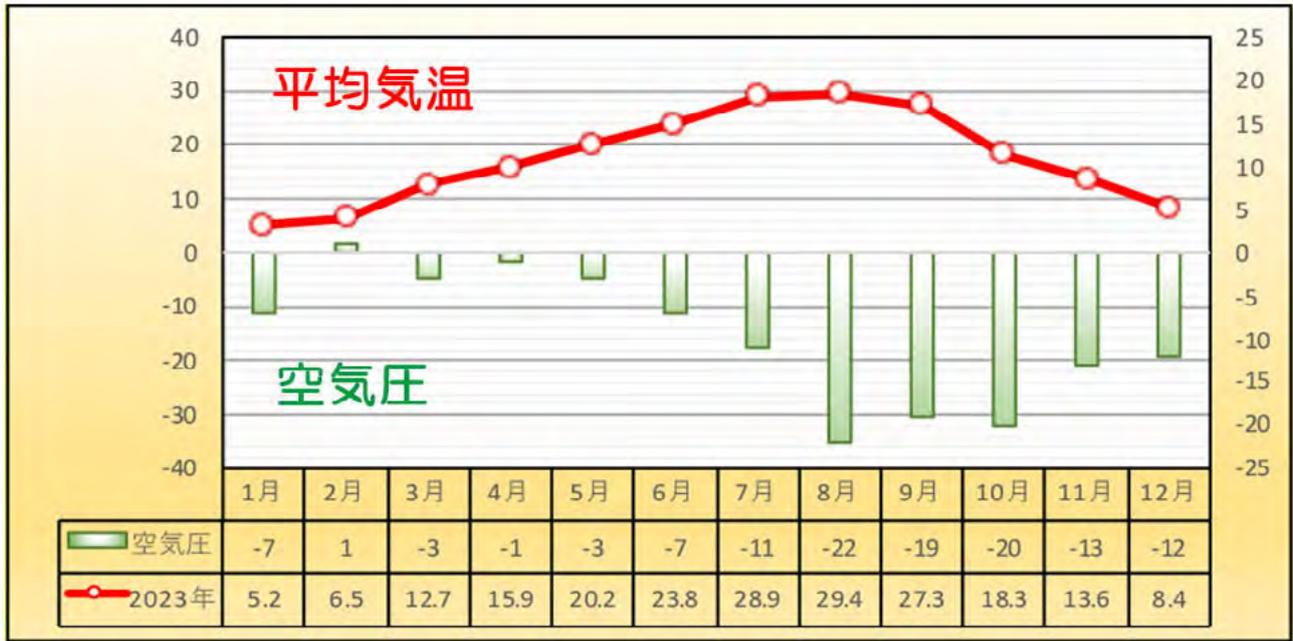


図4 冬春夏 6ヶ月間 空気圧変化

2023年1月1日 ~ 2023年6月30日

空気圧低下は、CO2・マイクロプラスチックを増やす。



図4 夏秋冬 6ヶ月間 空気圧変化

2023年7月1日 ~ 2023年12月30日

空気圧低下は、CO2・マイクロプラスチックを増やす。



オカダ式空気圧点検 (平均気温に補正した空気圧)

スズキ ハスラー ダンロップ ENASAVE 165-60-15

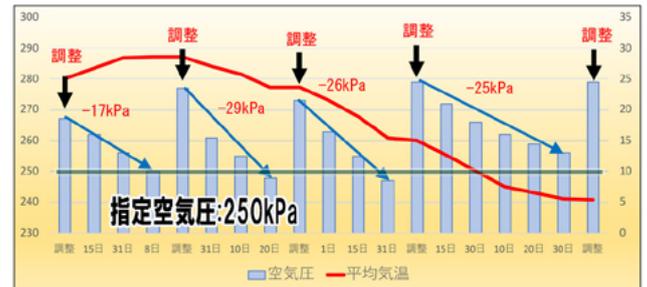
		2023年																							
		1月				2月				3月				4月				5月							
ハスラー	1日	10日	20日	30日	調整	20日	28日	10日	20日	30日	10日	20日	30日	10日	20日	31日	10日	20日	31日	10日	20日	29日			
空気圧	261	260	257	255	260	258	259	258	259	256	258	257	257	257	256	254	251	249	246						
1ヶ月	Δ6kPa				Δ1kPa				Δ1kPa				Δ3kPa				Δ8kPa								
平均気温	5.3	4.9	4.7	4.4	5.0	6.0	7.2	8.2	9.7	11.3	13.6	15.5	17.2	18.6	19.8	21.3	22.3	23.4	24.8						



オカダ式空気圧点検 (平均気温に補正した空気圧)

スズキ ハスラー ダンロップ ENASAVE 165-60-15

		2023年																							
		7月				8月				9月				10月				11月				12月			
ハスラー	調整	15日	31日	8日	調整	31日	10日	20日	調整	1日	15日	31日	調整	15日	30日	10日	20日	30日	調整	15日	30日	10日	20日	30日	
空気圧	267	262	256	250	277	261	255	249	273	263	255	247	279	272	266	262	259	256	279						
1ヶ月	Δ11kPa				Δ22kPa				Δ18kPa				Δ20kPa				Δ13kPa				Δ10kPa				
平均気温	25.0	26.8	28.4	28.6	28.6	27.0	25.7	23.7	23.7	21.5	18.9	15.5	15.0	12.6	10.0	7.5	6.5	5.5	5.4						



スズキ

安心メン
テナンス

安心メンテナンス? = 空気圧は月に1度以上しないと安心できない。



タイヤの溝の深さ、異常摩耗、スペアタイヤの空気圧
※走行距離によって省略できる項目

ダイハツ



※安心6ヵ月点検フレッシュケア

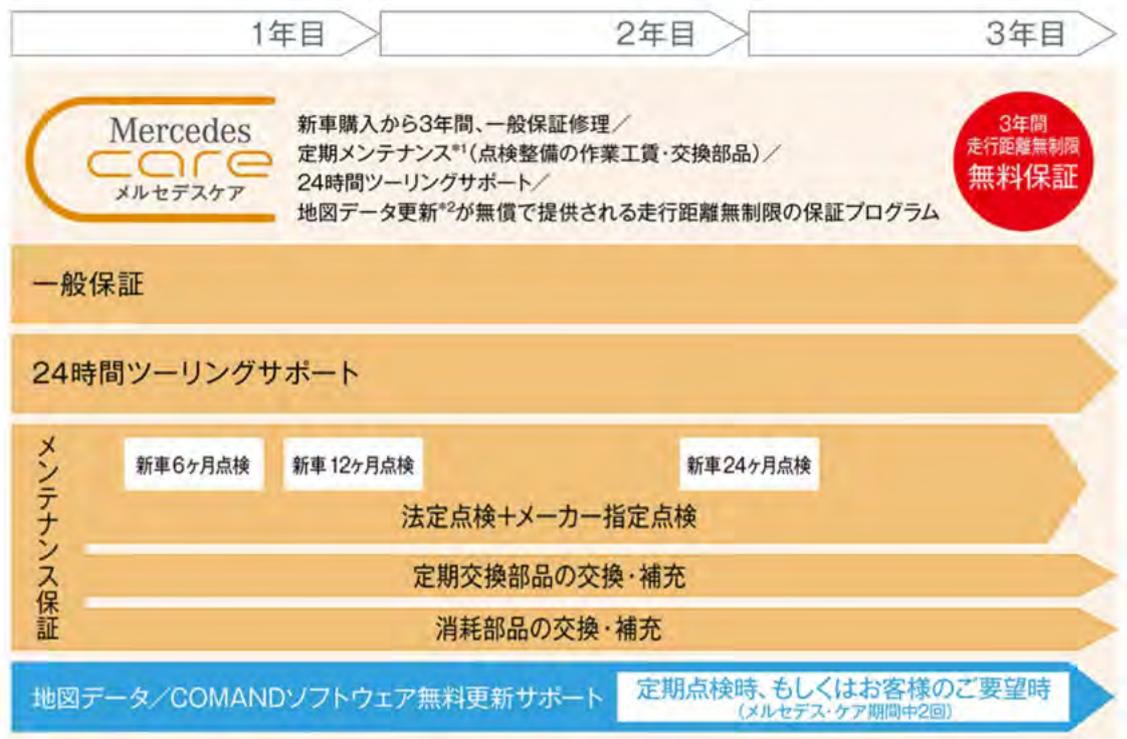
空気圧点検は月に1度?

海外メーカーには、6ヶ月（法律にはない）点検はない。

メルセデス・ケアとは

新車購入から3年間の走行距離無制限の保証プログラムです。

修理からメンテナンスまで、3年間無料でサポートする一般保証/メンテナンス保証、24時間・365日、万が一の時に備えた24時間ツーリングサポート、地図データ/COMANDソフトウェア無料更新サポートをご用意しております。

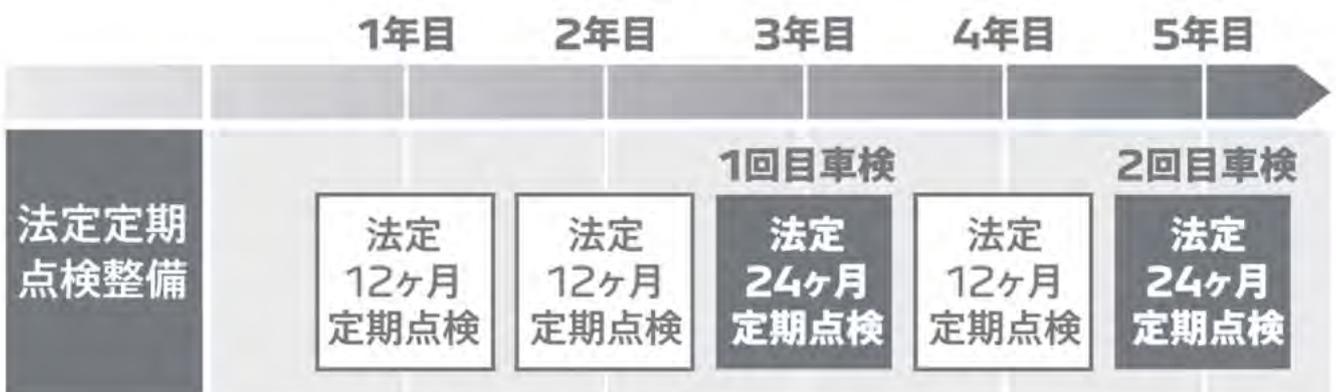


プジョー

プジョー・メンテナンスは、車検や定期・法定点検に類するきめ細かな点検をセットにしたメンテナンスプランです。つねに最高のパフォーマンスを愉しんでいただけるよう、プジョー車を知り尽くしたメカニックが深い知識と最新のテクノロジーを駆使して、一台一台丁寧に作業を実施します。プジョー正規ディーラーでご購入された方に限らず、すべてのプジョーオーナー様にご利用いただけます。

車検・法定点検とは

車検は、道路運送車両法に定められた保安基準に適合しているかを検査する制度で、適合しないクルマは公道を走ることができません。また、法定点検も同じ法令で定められ、クルマの予備整備を目的に、12ヶ月毎、24ヶ月毎に点検を受けることが義務づけられています。美しく性能を維持し、安心安全にお乗りいただくためにも、車検・法定点検はプジョー正規ディーラーをご利用ください。



燃費・電費 (CO2 排出量) に影響する空気圧は正確に

後輪の空気圧の原因は

おそらく調整時
メモリの読み間違い



右前輪 :251kPa
右後輪 :240kPa
誤差 :11kPa

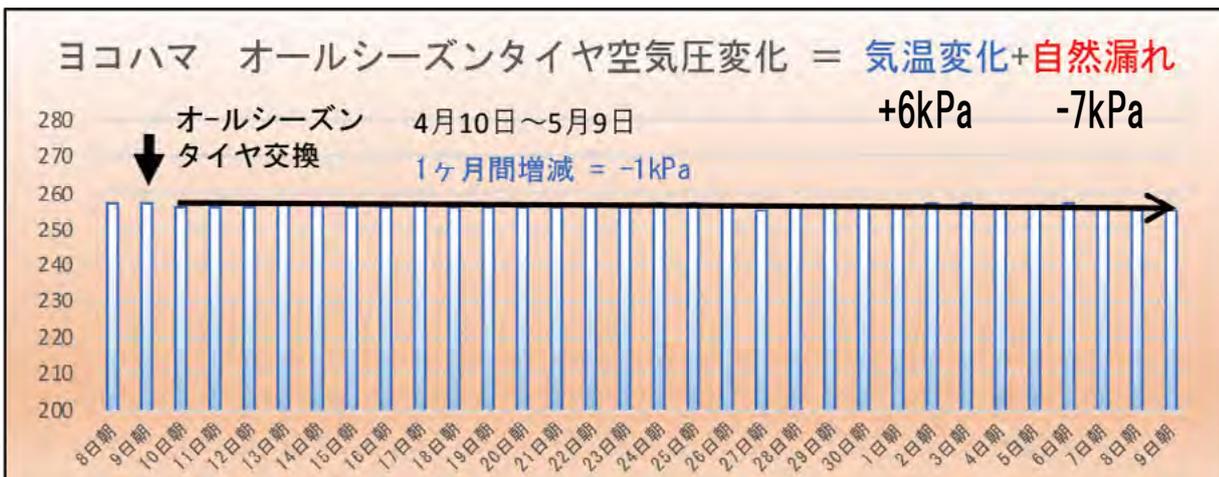
右前輪 :251kPa
左後輪 :231kPa
誤差 :20kPa

調整 4月10日 朝 平均気温 13.6度
気温 :6.6度 で補正 :256kPa

5月9日 朝 平均気温 18.5度
気温 :12.0度 で補正 :255kPa



1ヶ月後



災害時パンク急増

100万Km 走行してもパンクしなくても
1m 走行してもパンクする場合もある。

NHK 各地のニュース
熊本県のニュース
NHK熊本放送局

地震 損壊道路でパンク増加か

去年12月末までの9か月間に、県内でJAF＝日本自動車連盟に寄せられたタイヤのパンクについての救援要請は6700件余りと、すでに例年の1年間あたりの件数を上回っていることがわかりました。

JAFは、熊本地震のあと、壊れた道路やがれきの上などを走行してタイヤがダメージを受けたことから、パンクが増えたとみられると分析しています。

JAF熊本支部によりますと、去年4月から12月末までの9か月間に、県内で寄せられたタイヤのパンクについての救援要請は6759件にのぼっています。

これは5500件から6500件という例年の1年間あたりの件数をすでに上回っていて、同じ時期と比べると、過去最多となった熊本地震が発生した平成28年度の件数に匹敵しています。

県内では熊本地震のあと、道路の損壊やがれきの散乱が相次ぎ、このうち、熊本市によりますと道路の損壊は市内だけでも最も多いときで7416か所におよんだということで、JAFは、壊れた道路やがれきの上などを走行してタイヤがダメージを受けたことから、パンクが増えたとみられると分析しています。

JAF熊本支部の田中至道さんは「パンクを防ぐには日常点検が不可欠で、もし異常が見つかった際には気軽に連絡してほしい」と話しています。

02/02 18:50



パツソ 指定空気圧 前後220kPa
ヨコハマ ASPEC 175-65-14
平均気温 9.8度

11月30日	右前輪	右後輪	左前輪	左後輪
気温6.8度	213	198	214	215



私の日常点検の
空気圧点検によって
パンクを見つけた時の
空気圧

トップ > 石川のニュース > パンク修理に奮闘 珠洲で被災の自動車整備会社 「生活の足取り戻す」

パンク修理に奮闘 珠洲で被災の自動車整備会社 「生活の足取り戻す」

社会

2024/1/19 01

📎 記事を保存 ✂️ 切り抜き紙面



工場が被災しながらも車の修理を続ける中野憲司さん＝珠洲市宝立町

能登半島地震で被害が大きかった珠洲市で、自動車整備会社の社員が車中泊を続けながら、パンクしたタイヤの修理に奮闘している。社員7人のうち5人が避難所生活を余儀なくされ人手が足りない中、「被災者の生活の足を取り戻すため、自分たちが今できる限りのことをしたい」と活動を続ける。

修理に励むのは「カーライフ中野」＝宝立町春日野＝の中野憲司さん（46）。工場の設備は地震でほとんど使用できない状況だが、住民の不便さを思うと修理の依頼を断ることができなかったと語る。

市内では隆起や陥没した道路でタイヤがパンクするトラブルが多発し、修理の依頼が殺到。同じ社員の兄浩司さん（54）も協力しているが、問い合わせの電話は鳴り止まず、全てに対応できないのが心苦しいという。

父、妻、3人の息子と暮らす憲司さんの自宅は倒壊を免れたが、子ども3人が揺れの恐怖で家に入ることを嫌がり、1日から家族6人で車中泊をしている。

憲司さんは「家族への負担や復興への道が見えない不安はあるが、大切な故郷からは逃げ出せない。できる仕事は限られるが、少しでも力になりたい」と話した。

石川 NEWS WEB

能登半島地震後に被災地でパンクに伴う出動要請 3 倍に J A F

05月24日 17時01分



J A F = 日本自動車連盟によりますと、能登半島地震のあと、石川県内の被害が激しかった地域では、パンクに伴う出動要請が去年の3倍あまりに増えているということで、状態が悪い道路ではスピードを落として路面の状況を確認するなどパンクに注意するよう呼びかけています。

能登半島地震で大きな被害を受けた県内各地の道路は、通行できるようになっていても、段差やひび割れが残ったりがれきが散乱していたりするなど、状態が悪い箇所が多く残っています。

J A F 石川支部によりますと、地震のあと、乗用車のパンクが相次いでいるということで、ことし、4月末までに地震による被害が特に激しい地域から受けたパンクに伴う出動要請は、280件で、去年の同じ時期と比べておよそ3.3倍に増えているということです。

J A F では、被災地の状態が悪い道路では、スピードを落として路面の状況を確認するなど、パンクに注意するよう呼びかけています。

また、スペアのタイヤを積んでいても、空気圧の不足や劣化で交換できないケースが少なくないということで、スペアを含め、空気圧や劣化の状況を確認しておくよう呼びかけています。

J A F 石川支部の辻浦千久係長は「被災地を車で走る前は、タイヤのチェックを必ず行い、万が一、パンクした場合には、落ち着いて車を止め、ロードサービスなどに連絡してほしい」と話していました。

※出動要請件数は、輪島市・珠洲市・穴水町・能登町、のと里山海道からの要請が対象。